

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673900108
法人名	医療法人 トウスイ会
事業所名	グループホーム みのり園
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1358-2 (電話) 0996-52-0122
自己評価作成日	平成29年2月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

町の中心部に母体病院と隣接してホームが設置されており、ご利用者は診療や健康管理を安心して任せることが出来ます。職員は基本理念を毎朝復唱し、ご利用者の尊厳を守るケアを目標に取り組んでいます。ご利用者が生活を営んでいくために必要な作業、例えば掃除や洗濯物の管理、炊事場の作業を共同で行い、持てる力を生かすことでご利用者の自信と喜びに繋げていけるよう支援しています。また、園庭ではご利用者様と一緒に季節の野菜作りを行い、収穫の楽しみを味わっていただいています。また、気候の良い時期は日光浴を兼ねた散歩を継続的に行い、外の空気や季節を味わっていただいたり、リハビリやレクリエーションを毎日実施しており、ご利用者が退屈せず楽しく毎日が送れるよう色々な取り組みを行っています。他に、外門や玄関の施錠は行わず常に開放しており、いつでも出入りが出来、またご家族や友人・知人が立ち寄り易いよう配慮しています。

○当ホームは、町の中心部に位置し国道沿いにある。2ユニットがあり互いのリビングからユニットを行き来できるようになっている。
母体の病院とリハビリセンターに隣接し、平屋造りの木造建築で中庭に菜園を配しており、季節の花々や野菜を栽培している。収穫は、利用者と一緒にこない、料理に活用している。また、食材は、安心安全を心掛け地域の生産者や専門店から仕入れている。

○理念は、リビングに掲示し、年度末に理念についての評価を実施している。また、年度初めには、理念に沿った年度目標をユニットごとに決めて理念とともに目標を意識したケアを実践している。職員は、朝礼や職員会議で唱和し常に理念や年度目標を念頭に置いてケア向上に努めている。

○母体は医療機関であり、緊急時や重度化した場合や看取りケアについても本人・家族が望む暮らしの実現を目指し双方の信頼や協力関係を築くよう取り組んでいる。重度化した場合や終末期支援のあり方について、本人・利用者の意思確認を随時こない、本人が望む場所で暮らせるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送り後に園の理念を唱和し、職員全員で共有し実践に努めている。	理念や年次目標は、共有スペースに掲示され理念は、日々朝礼などで唱和されている。年度末には職員全員で理念を評価し、次年度の目標を設定するなどして理念を意識して業務に取り組むようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事や園での行事等がある時は参加したり地域の方に参加を呼びかけており交流を深めている。	利用者は、地域の七夕、敬老会、法人の行事（6月灯、夏祭りなど）を通じて地域の方々や小学生などと交流したり、傾聴ボランティア、介護相談員の受け入れをするなど地域とのおつき合いを大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	外部者からの相談を受け入れ認知症の人の理解や支援の方法を教えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行い、園でのサービスや評価への取り組み状況を報告し、ご家族様や外部の方からの意見・要望を職員会議等で話し合いサービスの向上に努めている。	管理者は、なるべく多くの家族が会議に参加して頂けるよう全家族に声かけしており、会議では、ホームの課題や業務の見直しなどについても参加メンバーから意見を頂戴し、職員会議などで話し合いケアの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議やその他日頃から連携を密に取り、園の実情やケアサービスの取り組みを伝えている。	担当者との協力関係が密に図られ、入所相談を受けたり、町主催のケアマネ協議会研修会、介護職員を対象とした事例検討会などに積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に5回身体拘束委員が「身体拘束の資料」を配り、理解をするよう努力し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会があり、センサーマットの活用や車いす用安全ベルトの装着について、身体拘束の三原則を踏まえ検証し拘束しないケアについて検討している。また、職員は言葉による拘束にも留意しケアに取り組むなど年4回勉強会にて知識を研鑽している。自由に戸外に出られる方もあるが玄関は施錠せず自由に過ごしてもらっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ご利用者様の身体チェックや健康管理等を行い虐待が見過ごされることが無いよう注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は制度がある事を理解している。必要時は話し合い活用できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご利用者様の生活の現状・希望等を聞き、ご家族様の不安や疑問が無いように十分な説明を行い、理解・納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご利用者様やご家族様の意見・要望を聞き、職員会議や運営推進会議等で話し合い運営に反映出来るよう努力している。</p>	<p>利用者や家族からは、日常の会話や面談時に意見、要望などを聞くようにしている。家族からいつでも意見が出しやすいよう良好な関係性を意識し、出された意見は、職員会議や運営推進会議などで話し合い運営に反映するようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議等で職員の意見や提案を話し合い反映させている。</p>	<p>職員から利用者との触れ合いやコミュニケーション活動の充実を図りたいとシフト調整の必要性について提案があり職員会議で話し合い、サービス内容を変更した。管理者らは、朝礼や職員会議の際、意見や提案を聞くようにしている。また、必要に応じて個人面談している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員個々が無理のない体制で働き、職場環境や条件の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修や勉強会へは積極的に参加し職員会議などで報告し、参加出来なかった職員への勉強会や資料の回覧を実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者での情報交換がある。職員は定期的に町の事例検討会に参加し同業者との交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所される時点でご本人様に不安や要望を尋ね安心して生活ができるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所される時や事前に不安や要望を尋ね安心して頂けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人様とご家族様の実情に応じ、必要な支援を見極めサービスの紹介を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家庭的雰囲気を大切に職員を含めて共同生活を営んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族様へ近況報告を兼ねた写真入りの手紙を送り、協力し合える関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様、友人・知人の方の面会や外出、一時帰宅の支援を行ったり地元公民会との関係が途切れないよう努めている。	入所前の生活歴や利用者情報、家族の情報をもとにこれまでの人間関係が途切れることがないように努めている。職員は、自宅訪問や外泊支援、美容院の利用ができるよう家族に協力をもらっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いの関係がうまくいくようテーブル席の配置を工夫したり支え合えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後であっても面会に行ったり、行事がある時には見に来て頂けるよう働きかけをして関係を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中でご本人様の思いや意向を確認し、職員で話し合いを持ち、希望に添えるよう努めている。	本人と会話したり、生活ぶりを見ながら本人の思いや希望などを聞き取り、ケア会議、カンファレンスで職員全員で話し合うようにしている。また、家族とのコミュニケーション活動にも努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前、ご本人様やご家族様から話を聞くようにしている。入所後はご本人様との会話から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の状態を観察、記録に残し状況把握を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間で話し合いケアプラン会議にてケアのあり方を統一している。また、ご本人様、ご家族様の意向をお聞きし介護計画を立てている。	担当職員を中心にして、「アセスメント要約書」を毎月の請求書、家族への手紙に同封している。月1回、ケアプラン会議を開催し、ケアの方法やサービス内容について話し合っている。家族には、状態に変化があったりするなど計画変更の必要性がある場合は参加を呼びかけている。また、遠方の家族に必要時連絡を取るようになっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様の状況・言動を記録に残し職員間で共有しながらケアの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族様のニーズに対応出来るよう柔軟な支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・消防署員・公民会長などの協力を得、安心して生活を営んで頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族様の希望に沿った受診支援を行っている。	本人、家族が希望する主治医になっており、外来受診は職員が対応している。皮膚科などの他科受診は、家族対応で依頼し、病院の看護師との連絡、連携が密に図られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>情報や気づきを記録に残し、業務に入る前に目を通し、申し送り等で共有し適切な受診が出来るよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>日頃から病院との連携を密にしており、病院関係者との関係作りは良好である。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時にご本人様やご家族様には説明している。重度化が進んできた時に改めて話し合いを行っている。</p>	<p>契約時、重度化した場合や看取りについてのホームの方針を重要事項説明書にて説明し同意をいただいている。看取りについては柔軟に取り組んでいるが、段階に応じてその時点で、本人、家族、主治医、関係者間で本人の望む暮らしの実現に向けて十分に話し合っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時は病院へ連絡し、看護師が到着するまでの間の対応の指示を得ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を実施している。地域の方々とも話し合い・協力体制を築いている。</p>	<p>年2回夜間想定にて避難訓練を実施している。地域の協力は薄い、母体の医療機関との連携が図られている。水や菓子などの備蓄が完備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	名前を呼ぶ時は名字で呼んでいる。トイレや入浴時はカーテンやドアを閉めプライバシーを損ねないようにしている。	プライバシーについては、研修会の中でも触れるなど常に意識している。職員は、年長者として敬い人格を傷つけないよう接している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の体調を見ながら声かけ、ご家族様にも確認をしながら自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調を見ながらその方のペースに合わせて1日を過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2ヶ月に1回、ビューティーヘルパーを利用し、ヘアカットや髪染めを行っている。居室担当者が衣類整理をしおしゃれがし易いようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に食事の準備をしたりお茶碗洗いを行っている。陶器の茶碗を使用している。	献立は、1週間ごとに担当職員が作成している。キザミ食、ミキサー食などの食事形態を工夫し食事提供している。気候の良い日は、庭のテラスで昼食したり、花見や遠足は手作り弁当を楽しんでいる。また、外食は、家族に協力をもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合った量で提供し、摂取量のチェックを行っている。制限のある方には定量、水分を摂られない方には声かけや時間を置いて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアを促し自力で磨かれた後、義歯洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の状態に応じ支援している。自立が難しい方には介助に入り、声かけにて移乗動作やズボンの上げ下げが自力で出来るよう促している。	昼間もポータブルトイレを併用される利用者が多いが、臭いなどせず清潔感のある居室である。職員は、排泄のリズムを把握し、誘導してなるべくトイレで排泄ができるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のヨーグルト提供や水分摂取状況の確認、リハビリ体操の他、生活動作で出来る限り身体を動かして頂く機会を設けている。排便状況のチェックを行い医師の指示を仰いでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は毎日設けているが、ご本人様の希望や体調確認をしてから実施している。	午後からの入浴になっており、温泉にゆっくりと浸かり入浴が楽しめるよう取り組んでいる。また、利用者ごとに入浴のタイミングを図り気持ちよく過ごせるよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は昼食後昼寝の時間を設け休んで頂き、夜間は個々自由に居室を出入りし、したい事をされた後休まれている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院・薬局の指示の下服薬支援をしている。変わった事があればすぐ報告し指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を活かした役割分担を行い自身と喜びに繋げている。毎日レクリエーションを行い楽しく過ごして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族の協力の下、外出・外泊の支援や、園の行事の中で計画を立て実施している。	洗濯物の乾き具合を見にテラスに出られる方や、ごみ捨てをして下さる方、園庭を散歩される方、ホームセンターに職員と買い物に出かける方などがあり、自由でありのままの生活を実践しておられる。また、季節ごとの花見などは実習生に手伝いをもらったり、自宅訪問やドライブ、外食などは家族に協力を頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>トラブル回避の為に お金を所持している方はいない。欲しい物を希望された時は必要に応じてご家族に連絡し依頼したり職員が支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の希望があればかけてさし上げている。手紙のやり取りも自由に出来るよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節や行事に合わせて職員やご利用者様の手作りの作品を飾り落ち着いて過ごせる雰囲気作りに努めている。</p>	<p>リビングの天井には、梅を形取った吊るし飾りが飾られまさに季節感を演出している。体操やレクリエーションをおこなうスペースや畳ベットがあり広々としている。壁には、切紙で季節を表現したり、タペストリーが飾っており、利用者や来訪者の目を和ませている。また、空気清浄器があり、環境調整をしている。チューリップが活けてあり、洗濯物干し場のテラスに自由に出入りができるようにしてある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースの椅子でゆっくりテレビを見たりご利用者様同士談話されたり、居室で読書や日記を書かれたりし事由に過ごされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人様やご家族様の希望に添えるよう対応し、居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>	<p>居室は、畳部屋で障子仕様の和室であるが、必要に応じてフロアマットを敷いている方もいる。ポータブルトイレの目隠しには衝立が置いてある。外の景色が見えるようベットの配置を工夫したり、身体機能を考え家具を配置するなど工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全に過ごして頂けるよう、共有スペースは広く使えるよう工夫したり、「できること」「わかること」を活かし声かけや見守りを行っている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない